

「AMG協議会ニュースは、AMG協議会各部署からAMG全職員への情報発信を目的としています」

2025
No.075
1月号

AMG News!

January



上尾中央医科グループ
AGEO MEDICAL GROUP

編集・発行人 AMG協議会総務部 広報室 <https://www.amg.or.jp>
〒362-0075 埼玉県上尾市柏座1-10-3-58 TEL:048-773-1113 FAX:048-773-7116
監修/(株)寿エンタープライズ 制作/(株)博愛社

看護本部

2024年度AMG外国人技能実習生交流会 (10月31日・11月28日)

ハートケア流山 介護看護部 科長 赤澤 健児

今回のテーマは『技能実習生がリフレッシュし元気に活動できること』とし企画。交流会には138名の技能実習生が参加予定。入国順に2つのグループに分け、10月、11月に実施しています。昨年度との大きな違いは、ランチの提供が実現できたこと。ランチは会話と笑顔をつくり、緊張感がほぐれて良い交流会の入り方になりました。

技能実習生代表スピーチでは、各代表者たちの読み原稿をみると、しわくちゃんになる程、何度も消しゴムで消し、日本語手書きでした。努力は裏切らず、堂々とした日本語のスピーチには会場全体が湧きました！

最後のグループワークでは、模造紙に【私の地域の自慢・日本の良い所・ベトナムの魅力】など複数のテーマから自由に選び、模造紙にまとめ、日本語でプレゼンを行う。言語だけでは伝わらない内容でも、イラストを加える事、ポディーランゲージなど非言語をうまく活用しながらユーモア溢れるプレゼン。テーマに沿う交流会となりました。



2024.10.31



2024.11.28



2025年度 キャリアサポートセンター 研修一覧

キャリアサポートセンター

Online
オンライン
研修

日本看護協会認定

研修名	日程および期間	定員	受講料(税込)	申込期間	選考通知
認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	5月2日(金)~7月21日(月) 原則 週2日/金・土曜	100名	150,000円	1月20日(月)~2月20日(木)	3月下旬
認定看護管理者教育課程 セカンドレベル	8月15日(金)~12月20日(土) 原則 週2日/金・土曜	50名	210,000円	5月1日(木)~5月31日(土)	7月上旬
NEW 認定看護管理者教育課程 サードレベル※1	(2026年) 7月2日(水)~2月28日(土) 原則 週2日程度(10~12月は自己学習期間)	30名	300,000円	4月1日(火)~4月30日(水)	6月上旬
感染管理認定看護師教育課程 (特定行為研修を組み込んでいる:B課程)※2	(2026年) 4月10日(木)~3月19日(木)	15名	1,380,000円 (入学金込み)	1次募集の申込は終了しています。 2次募集の正式な決定は12月上旬を 予定しております。	12月中旬

※1 一部対面研修 ※2 原則対面研修

厚生労働省認可

看護学生実習指導者講習会	7月1日(火)~11月11日(火) eラーニングを含む	100名	50,000円	4月1日(火)~4月30日(水)	5月下旬
NEW 特定分野における 看護学生実習指導者講習会※3	7月1日(火)~10月23日(木) eラーニングを含む オンライン講義2回程度 演習3回あり	30名	25,000円	4月1日(火)~4月30日(水)	5月上旬
介護福祉士実習指導者講習会	(2026年) 2月18日(水)~3月18日(水) 原則 週1日 5日程度	40名	27,000円	11月1日(土)~11月30日(日)	12月中旬

※3 対象者:①看護師として3年以上の実務経験がある方②病院以外の施設で実習指導の任にあるまたはその予定がある方

日本介護福祉士会認定

NEW 認定介護福祉士養成講座 ファーストステップ※4	(2026年) 5月21日(水)~1月28日(水) 原則 週1~2日 15日程度	30名	85,000円	3月1日(土)~3月31日(月)	4月下旬
--------------------------------	--	-----	---------	------------------	------

※4 対象者:介護福祉士を有しており、将来介護管理者を目指している方

診療報酬加算対象

厚生労働省「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」 医療安全管理者養成研修	(2026年) 1月17日(土)~2月28日(土) 原則 週1日/土曜 7日程度	50名	64,000円	10月1日(水)~10月31日(金) ※定員になり次第締切
--	--	-----	---------	----------------------------------

その他

看護管理者のための研修	12月頃予定 半日	100名	3,000円	詳細はホームページをご確認ください。
看護・介護実習指導者 / 教育に携わる方のための研修	9月頃予定 半日	100名	3,000円	詳細はホームページをご確認ください。

研修日程は変更する場合がありますので、必ずホームページでご確認ください。

AMG Career Support Center



一般社団法人 上尾中央医科グループ協議会
キャリアサポートセンター

【所在地】〒362-0036
埼玉県上尾市宮本町10-29
AMG 学習館3階

【お問い合わせ】上尾中央医科グループ協議会 看護本部
(平日) 8:30~17:30 (土曜) 9:00~12:00

TEL 048-771-7765 Mail csc@amg.or.jp
URL https://amg.or.jp/career_support/



2025年度 新規研修案内

認定看護管理者教育課程 サードレベル

新型コロナの影響をうけ中断しておりましたサードレベルの研修を、数年ぶりに開講する運びとなりました。サードレベルは、2018年・2019年と開講し、グループの看護部長さんにも沢山受講いただきました。今回の再開決定は、当センターを受講した方の声をお聞きしてのことでもありますので、是非この機会を活用頂けると幸いです。

特定分野における看護学生実習指導者講習会

病院以外の実習施設に所属の看護師で、3年以上の実務経験があり現在実習指導者の任にある、または将来実習指導者になる予定のある人が対象となります。看護基礎教育における教育の意義、実習指導者の役割を学び、効果的な実習指導ができる知識、技術が習得できます。

認定介護福祉士養成講座 ファーストステップ

日本介護福祉士会が認定する「認定介護福祉士養成講座 ファーストステップ」を開講いたします。本研修は、全14回にわたるプログラムで、「ケア」「連携」「運営管理」に関するスキルを体系的に学べる内容となっております。リーダーとして施設に貢献する力を養うだけでなく、将来的には認定介護福祉士を目指す介護福祉士のキャリアアップにもつながる充実した研修です。

2024年度 感染管理認定看護師教育課程 進捗

12月の約1ヶ月間、埼玉県内4施設・群馬2施設のご協力のもと、臨地実習を終了することができました。これまでの学びを深め、修了後の感染管理認定看護師としての活動や役割を理解することができたように感じます。残りの3ヶ月、この教育課程の集大成である、ケースレポート発表会の準備と修了試験に向けて取り組めるよう支援してまいります。



2025年度 感染管理認定看護師教育課程

11月20日選考試験が終わりました。1月から開講前の課題、2月からは特定行為研修のe-ラーニングを進めます。

1年間かけて施設や地域に貢献できる、感染管理認定看護師の育成をしてまいります。



2024年度

新人事務職フォローアップ研修会 開催報告

2024年10月に新人事務職に対する「6か月フォローアップ研修会」を開催しました。

参加対象者は、2024年度にAMGの各施設へ新卒で入社した事務職員です。研修会は大宮ソニックシティにて4日程開催しました。各日程で合計119名の新人事務職が参加しました。入社してからこれまでの業務や経験を振り返ることにより、現状の課題を再認識し、「やりがい」や「働きがい」へとつなげることが研修の目的です。そして、同施設、他施設の同期とコミュニケーションを取りながら、横のつながりを築き、周囲との関係性構築を通して、組織への定着とつなげます。

研修会は、相手を知り、理解してもらうための伝え方を意識して、他己紹介からスタートしました。その後のグループワークでは、結果を得るための目標の明確化や自身の役割、協力の大切さを実感できるワークを行いました。事前課題で取り組んだ成功体験もグループ内で共有し、振り返ることで成長したことへの自信を確認しました。

研修会で得た「成長の気づき」を更なる成長へつなげられるよう、今後意識してほしいことをお伝えしました。

当日研修会に送り出してくださった各病院・施設のみなさま、ご協力の程ありがとうございました。

研修の様子



2025年度

ワークアウト(ファシリテーター)研修会
キックオフ 開催報告

2024年12月16日にAMGワークアウト(ファシリテーター)研修会のキックオフを実施しました。

本研修は、「AMGのワークアウトを推進する人財を継続的に育成すること」を目的に、2016年度より開催をしています。

ファシリテーター研修会の講師は、「屋根瓦方式」を取り入れて育成しています。屋根瓦方式とは、講師を務めた人が、次の講師を育てる側に回る、これを繰り返しながら知識や講義内容を継承していくことです。教える側と教えられる側が「共に学ぶこと」を目指しています。

キックオフ当日は、前任講師の4名と、前回の研修会より選抜された新任講師4名が協議会ビルへ集結しました。

キックオフの前半は、本研修会の発足当初に講師を行っていた久保田総局長からご挨拶いただき、講師陣の自己紹介、新任講師への委嘱状授与を行いました。後半は、研修会の講義内容について、前任講師から新任講師へ引継ぎを行いました。

研修会本番に向けて、新任講師を中心に、前任講師と運営スタッフで準備を進めていきます。

AMGのワークアウトを推進する人財を継続的に育成する

- ① ワークアウトの基本と仕組みを学ぶ
- ② 問題解決の手法を身につける



◀ 新任講師
(左から) 吉川 樋田主任、白岡 佐伯係長
上尾第二 外館さん、HC 流山 河野さん

講師は「屋根瓦方式」を取り入れて育成しています



2025年度AMGワークアウト(ファシリテーター)研修会
6月開催予定(オンラインZoomにて)

第65回 全日本病院学会 in 京都

発表報告

全日本病院学会でのAMG職員の活躍の様子をご紹介します!

2024年9月28日～29日に「第65回 全日本病院学会」が開催されました。本学会は「地域医療構想前夜 ～嵐の中の航海 羅針盤を求めて～」をテーマに全国の医療関係者が集まり、854演題が採択されました。

AMGからは、30施設が参加し、109演題の学術発表をいたしました。(前回、27施設、80題)

AMGでは、職員のキャリア成長の支援として学会・研究発表や勉強会講師、論文などの執筆活動を推奨しています。



発表形式	演題数
口演	38
ポスター	71

部門	演題数(題)
薬剤	5
看護	29
放射線	14
検査	4
臨床工学	14
リハビリ	8
栄養	7
事務・SW	28

役職	発表者数
院長	1
課長・科長	10
係長	16
主任	36
一般	42
参事・主事	4

久保田総局長よりコメント

AMGグループが学会発表を推奨する目的は、次世代の人材育成を図ることにあります。年々、主任や一般職クラスのスタッフによる発表が増加しており、これは全体のレベルアップに寄与しています。

今後も若手が成長し続ける風土を築いていきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

AMG協議会 久保田 巧



▲会場:国立京都国際会館

今回の発表者一覧はこちらから!

病院・施設	演題数
上尾中央総合病院	8
八潮中央総合病院	7
吉川中央総合病院	3
白岡中央総合病院	5
東川口病院	4
柏厚生総合病院	3
津田沼中央総合病院	12
桜ヶ丘中央病院	3
浅草病院	2
さがみリハビリテーション病院	2
船橋総合病院	6
彩の国東大宮メディカルセンター	12
千葉愛友会記念病院	4
金沢文庫病院	5
三郷中央総合病院	3
横浜なみきりリハビリテーション病院	1

病院・施設	演題数
横浜相原病院	4
笛吹中央病院	1
笠幡病院	2
伊奈病院	3
越谷誠和病院	3
上尾中央第二病院	1
メディカルトピア草加病院	2
埼玉回生病院	2
勝田病院	3
横浜鶴見リハビリテーション病院	2
上尾中央腎クリニック	1
桶川腎クリニック	1
西大宮腎クリニック	1
AMG協議会	3



全日本病院学会 AMG懇親会

第65回全日本病院学会in京都AMG懇親会が開催されました!!
2024年9月28日、京都東急ホテルにて第65回全日本病院学会in京都AMG懇親会が開催されました。

今回は前回を上回る212名の参加となりました。最初に中村会長よりご挨拶をいただき、その後彩の国東大宮メディカルセンター藤岡院長の乾杯のご発声にて懇親会が始まりました。歓談中は円卓を囲みながら大いに盛り上がり、職員同士が交流を深める有意義な時間となりました。

閉会は、三郷中央総合病院諸井院長からのお言葉をもって無事終了となりました。



【第66回 全日本病院学会】
次回は
2025年10月11日～12日に
北海道で開催されます。

全日本病院学会 in京都 発表者インタビュー

4回目の発表 桜ヶ丘中央病院 山本真広さん(理学療法士)

ポスター発表
「理学療法士のバーンアウトについての横断的調査」

Q1.発表を終えての感想

本学会では、自身の研究について他職種の方からの意見をいただける貴重な機会に恵まれたと感じます。発表当日はポスター張りが大変だったり、大勢の前で発表することに緊張しましたが、同じ職場から一緒に発表した方や、事務長など多くの方にサポートしていただき、とても心強く感じました。発表で得られた知識や経験を、AMGグループに還元できるように努力していきたいと思えます。

Q2.準備段階で苦労した点、良かった点

データ収集の際にはサンプルサイズが当初不足していましたが、職場の上長や、グループ内の多くの施設の方にご協力いただいたことで、研究が実現できました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

2回目の発表 彩の国東大宮メディカルセンター 主任 高橋れなさん(業務サポート課)

□演発表
「病院機能評価を活用した質改善活動」

Q1.発表を終えての感想

6月に初めて発表を行いました。自分の予想以上に上手くいったため、さらに良い発表をしなければとプレッシャーを感じて、当日は非常に緊張していました。しかし壇上に上がると、応援に来てくれた職員の花が見えたので、とても心強く、落ち着いて発表に臨むことができました。

Q2.準備段階で苦労した点、良かった点

私が業務サポート課へ異動する前から始まっていた取り組みだったので、当初の流れを後追いの形で確認しました。担当者がしっかりと記録を残しておかげで、スムーズに準備を終えられて感謝しています。また、シンプルに明確に分かりやすく伝えるにはどうしたらいいか、最後まで悩みましたが満足のいく内容にできました。

はじめての発表 笛吹中央病院 主任 安藤由紀さん(認知症看護認定看護師)

ポスター発表
「身体拘束最小化に向けての取り組み～チームラウンドによる身体抑制率の変化～」

Q1.発表を終えての感想

同じ会場でポスター発表が同時にあり、発表者の声が聞き取りにくい状況だったため、大きな声で発表しました。その結果、多くの方が発表を聞きに来てくれ複数の質問を受けました。どの病院も身体拘束に関して関心が高く、削減に向けて苦心していることが分かりました。今回は、3年間の取り組みを発表しましたが、当院では身体拘束削減に向けての活動は継続中です。今後も良い結果を発表できるように頑張っていきます。

Q2.準備段階で苦労した点、良かった点

伝えたいことが多く、何を削るかに悩みました。結果的に見やすいポスターが出来上がり、悩んだ甲斐がありました。

3回目の発表 西大宮腎クリニック 主任 小内宗一郎さん(臨床工学技士)

□演発表
「当院におけるエコーガイド下穿刺の導入と教育の取り組み」

Q1.発表を終えての感想

無事に終わってよかったの一言でした。直前では問題ないと思っていても、いざ終わってみると内容や発表に反省点が見えてきて、改善の余地がまだまだあるんだなと思わされるいい機会となりました。

Q2.準備段階で苦労した点、良かった点

学会発表を目的として始めた取り組みではなかったため、どのように発表したら良いかの検討に苦労しましたが、先輩方の力添えにより無事に発表することが出来ました。その中で、日常業務とはまた違ったスキルを学ぶことができ、とても良い機会となりました。

特定非営利活動法人 日本医師事務作業補助者協会 第13回 全国学術集会在行われました!

人財開発室

2024年10月20日(日)に特定非営利活動法人 日本医師事務作業補助者協会 第13回 全国学術集会在行われました。今回AMGからは10演題の発表があり、内2演題が優秀演題賞を受賞しました!

～当日のプログラム～

- 学術集会長講演
 - 教育講演 「自治体が主導する共通電子カルテによる医療DX」
 - シンポジウム
 - 一般演題
 - 会場 日本赤十字看護大学
- ※全プログラムにおいて、後日オンデマンド配信されております。

人財開発室 駒宮室長より

今回の学術集会の一般演題では、これまでの医療文書作成や電子カルテ代行入力の他、より効果を高めるための人材育成の取り組み、時代に合わせた「IT」や「AI」を活用した新たな取り組みなどが発表されました。多くの方が参加して、学びの機会とされると同時に、学会発表を人材育成の一つの機会としていきましょう!

久保田総局長より

今回もAMGより10題と多くのエントリーをいただき、ありがとうございました。学術集会も、今回で13回目の開催となりました。今年度より医師の働き方改革がスタートし、ますますタスクシフト、タスクシェアの推進が求められています。医師事務作業補助者の人材確保、定着や育成には、まだまだ課題があります。今回の学術集会が、AMG目標でもある、医師事務作業補助者の採用、定着、そして育成プロセスの強化につながり、各現場での課題解決と効率化を推進する機会となったのであれば幸いです。引き続き、ご支援の程よろしくお願いたします。



発表演題一覧

優秀賞	施設名	演題名	筆頭演者
※	上尾中央総合病院	DAによる服用薬代行入力の取り組み	保坂 優香
	吉川中央総合病院	関節リウマチ専門外来における検査スケジュールシステム化について	山中 郁佳
※	白岡中央総合病院	回復期リハビリテーション病棟における診療支援とその効果	飯島 正恵
	津田沼中央総合病院	ドック二次受診者UPへの取り組み～医師の業務負担軽減、外来待ち時間短縮も求めて～	鈴鹿 菫
	彩の国東大宮メディカルセンター	骨粗鬆症リエゾン部会への介入	石井 未来
	千葉愛友会記念病院	施設訪問回診同行における医師事務作業補助者の役割と効果	田村 千穂
	越谷誠和病院	紙カルテからの挑戦～新人教育と業務の開拓～	小山 詩織
	伊奈病院	見えてきた! 代行入力承認の傾向と対策～より迅速な承認実施を目指して～	高橋 砂映子
	メディカルトピア草加病院	収益を生み出す業務に目を向ける—2024年度診療報酬改定を機に—	竹内 奈央
	桜ヶ丘中央病院	電子カルテ導入後、新たな業務に挑戦!	有富 由利子

掲載例

【病院名】

【所属部署】

【名前】

発表者または
メンバーの写真

【演題名】

【抄録の要約】

【優秀演題賞受賞者コメント】



人財開発室

上尾中央総合病院
外来看護科
保坂 優香



DAによる服用薬代行入力の取り組み

当院では2018年から情報の一元化に取り組んでおり、他職種で共有できる「服用薬テンプレート」が作成された。現行の服用薬をDAがテンプレートに代行入力することになり、DA業務マニュアル・チェックリストを作成しDA共通業務として平準化を図った。入力は診察前(初診時・期間の空いている再診時)、入院決定時、医師からの依頼時に行い、情報の取得はお薬手帳と情報提供書を元に口頭での確認も行った。これらの取り組みで重複処方・薬剤相互作用を鑑みた新規処方・polypharmacyの削減・医療安全に寄与することができた。また、薬剤師や看護師も服用薬情報を取得していたため、有用な業務分担・負担軽減に繋がったと考える。

自分の伝えたいことを、相手に伝わるように文章を構築することやパワーポイントを作成することの難しさを実感しました。今回の経験を活かして教育指導を行っていきたいと思います。

白岡中央総合病院
メディカルクラーク課
飯島 正恵



回復期リハビリテーション病棟における診療支援とその効果

回復期リハビリテーション病棟の医師には視覚障害があり、医師事務作業補助者(MC)は主に診療情報提供書の代行作成を行っていた。医師からの文書の指摘や、多職種との連携不足により情報を迅速に把握できず、診療情報提供書の完成までに時間を要していた。勉強会の開催、テンプレート作成、リハビリカンファレンスへの参加等により、診療情報提供書の作成時間は短縮、退院情報を迅速に把握でき多職種との連携強化ができた。また、カンファで得た情報から正確に書類作成ができるようになり、医師から高評価をいただいた。MCは文字起こしアプリを活用し、カンファレンスだけでなく議事録作成等に役立てることができた。

学会発表にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。今回の取り組みで多職種との連携の大切さ、AI技術の可能性を感じました。今後も様々な視点からさらなる業務改善に努め、医師のサポートを強化していきます。

吉川中央総合病院
メディカルクラーク室
大嶋 美樹・山中 郁佳



関節リウマチ専門外来における検査スケジュールシステム化について

当院リウマチ外来は非常勤医師が隔週土曜日AMのみ行っている。常に繁忙な状態で業務を遂行していたが、新規患者の増加に伴いMCにて定期フォローの検査に対してスケジュール管理をして欲しいとの要望があり、検査スケジュールのシステム化を行うこととした。医師の指示の下、必要な検査の抽出・既存の検査セットの見直し・改定を行った。また最終検査日や次回検査予定を医師カルテで共有出来るようにした他、患者の受診状況を把握し他科受診時に合わせて検査オーダーや追加が出来るように取り組んだ。結果、医師の業務負担軽減のみならず診療時間・患者の待ち時間短縮に繋がったことで患者の負担軽減にも貢献できたことは大きな成果と考える。

津田沼中央総合病院
メディカルサポート室
鈴鹿 菫

ドック二次受診者UPへの取り組み
～医師の業務負担軽減、外来待ち時間短縮も求めて～

当院のドックで「胸部異常陰影」を124人(2023年4月～12月)が指摘され、このうちの65人が二次検診として当院の呼吸器内科を受診していた。呼吸器内科外来へ受診後、精密検査予定を組む等、効率が悪く、長い待ち時間が発生している現状であった。円滑な外来受診の提供に、医師事務作業補助者として医師、他部署と協議し連携を取ることが必要と考えた。ドック当日、検診医師から「胸部異常陰影」があることを説明。健康管理課にて胸部CT検査と呼吸器内科外来の予約を案内し取得。CT検査をドック受診日に予約することで二次検診にかかるすべての時間短縮の効果を認めている。今後、別疾患の二次検診受診にも適用する予定である。

彩の国東大宮メディカルセンター
医療クラーク課
石井 未来



骨粗鬆症リエゾン部会への介入

当院の医師事務は2023年4月から骨粗鬆症リエゾンチーム(OLS)に参加し、院内データベース管理、骨粗鬆症地域連携パスの作成、日本脆弱性骨折ネットワーク(FFN)への登録を開始した。院内データベースを二次利用する際、情報収集が必要な項目は電子カルテ上の医師事務が作成したテンプレートに多職種が入力することで情報抽出、情報共有ができるようになった。結果、今まで医師が抱えていた院内データベース、日本脆弱性骨折ネットワークへの登録、地域連携パスの作成を医師事務へタスクシフトすることができた。骨粗鬆症リエゾンチームにおける医師事務の役割を確立し、多職種との連携と、地域医療に貢献した。

千葉愛友会記念病院
メディカルサポート課
田村 千穂



施設訪問回診同行における医師事務作業補助者の役割と効果

施設回診における医師の業務負担の軽減とその効果について報告する。100名規模の施設訪問回診同行の依頼を受け、初診時のサマリ作成、回診時の代行入力、処方箋の代行入力、診察予約入力を行った。開始に向けた関係部署との調整や運用の確認、電子カルテ内に専用の定型文の作成など行い効率よく回診業務が行えるよう準備した。結果、1件当たり7分43秒×97人でひと月当たり12時間28分の代行入力をになった。DAの介入により医師の負担軽減に貢献できた。アンケート結果から医師の満足度や負担軽減効果の実感が得られた。この取り組みを継続していく意義は大きい。

人財開発室

越谷誠和病院
メディカルクラーク課
小山 詩織



紙カルテからの挑戦～新人教育と業務の開拓～

昨年度2名の新入職員を迎え、初めて新人教育を行うこととなった。教育はマニュアルを基に業務に対する共通認識で説明・教育が円滑に進んだ。また、R5年8月より電子カルテに移行され、と同時に診断書作成ソフトも導入となり、書類作成の負担が軽減された。今回、新人教育と電子カルテの導入に尽力し、その成果が目に見える形となったのが書類の2週間完成率である。紙カルテ時の月間平均完成率40%に比べ、増員・電子カルテ導入後は80%と完成率が大幅に上がった。このデータは、人材の成長と電子カルテ導入の双方が結びついた成果であると考えられる。

伊奈病院
メディカルサポート課
高橋 砂映子



見えてきた！代行入力承認の傾向と対策
～より迅速な承認実施を目指して～

当課では院内規定に基づき、医師の指示の下カルテ記事や検査オーダー等の代行入力を行っている。入力後は速やかな医師の承認作業が求められているが、実際は入力から承認実施までに時間を要している状況であった。その現状を改善するべく、迅速な承認実施を目的に掲げ、医師の特徴に沿って実施した様々な取り組みとその結果について報告した。

当課の取り組みにより速やかな承認の実施が実現できたことは、多忙な医師の特徴に沿った多方面からのアプローチが効果を発揮したと考える。代行入力の承認に限らず、医師事務作業補助者として医師の業務負担軽減を第一に考え、今後もより良い環境整備と医療の質改善に努めていきたい。

メディカルピア草加病院
臨床支援課
竹内 奈央



収益を生み出す業務に目を向けるー2024年度診療報酬改定を機にー

今回、2つの加算に着目、医師の業務負担軽減と収益増を同時に実現できた事例を報告する。1「生活習慣病管理料(Ⅱ)」。療養計画書をテンプレート化、個々の指導内容を追記した計画書を事前準備した。患者月3200人から対象者2400人を選定、799,200点算定。2「診療情報提供書料(Ⅰ)」。「退院時添付加算」。問診票に情報提供の必要性を説いた項目を記載し、カルテ記載等で医事課と情報共有した。月約140件から同意を得た110件で両加算49,500点の算定。「コスト意識」をもちながら支援するにはどう工夫すればよいかを考え、業務の見直しや拡大をおこなうことが重要である。

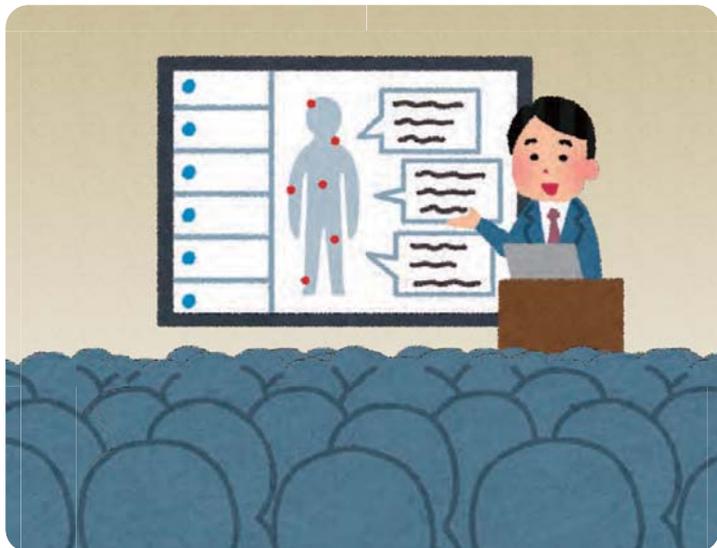
桜ヶ丘中央病院
診療部事務室
有富 由利子



電子カルテ導入後、新たな業務に挑戦!

電子カルテ導入後、院長が診察の際に電子カルテの入力に集中している時間が多いことや、内視鏡を行なっている際の所見入力に多くの時間を取られていたことから、院長の電子カルテ入力の負担軽減と内視鏡所見の代行入力に取り組んだ。医師事務が介入するにあたり、これまで代行入力で紹介してきた内科とは異なる外科特有の記載や、内視鏡所見の記載に関する知識不足が課題として上がった為、院長に代行入力についてご教示頂くと共に、実際に介入して件数を重ねながら業務支援を行った。今回、医師事務が介入したことで、院長は診療や内視鏡手技に専念出来るようになったことで1件あたりの時間短縮に繋がり、内視鏡裨拡大にも繋げることができた。

次回は2025年秋 高知にて開催予定です!



第4回 関東甲信越臨床工学会 演題発表報告

臨床工学部

演学会に参加した感想・印象に残った発表

9月29～30日に開催された第4回関東甲信越臨床工学会のテーマは「ニューノーマル時代とイノベーション～持続的な働き方改革～」でした。学会の対象地域は関東甲信越地区と広く1都9県の臨床工学技士会が参加するため、多種多様な知識を共有しあうことで更なる知識の向上につなげることが可能になると感じました。今回の大会のテーマである持続的な働き方改革に沿った臨床工学技士のタスクシフト・シェアに関する発表も多く見られ、臨床工学技士に求められる業務の幅も今後さらに拡大していくであろうことが感じられました。



学会・研修の内容

今回が初めての学会発表ということでデビューセッションに参加させていただきました。デビューセッションは学会発表や座長経験が初めての方が集まる発表枠となっており、事前オリエンテーションや発表当日の打ち合わせも行われたため安心して本番を迎えることができました。学会準備から発表にかけて上手くいかないことも多々ありましたが、上司や他のスタッフのサポートもあり無事発表を終えられ、自分自身の成長につながる貴重な経験ができたと感じています。

上尾中央総合病院 上倉 里菜



演題発表一覧(演題名 病院・施設名 発表者氏名)

当院のアクティブコード断線対策の取り組み	上尾中央総合病院 呼吸循環係	鈴木 亜久里
当科の2023年度教育ラダー改訂と評価について	上尾中央総合病院 血液浄化係	上倉 里菜
血液浄化センター災害チームの活動報告	彩の国東大宮メディカルセンター	小原 将太
当院における腹水濾過濃縮再静注療法の落差式とポンプ式での総蛋白・アルブミン回収率と発熱の発生率の比較	彩の国東大宮メディカルセンター	落合 優斗
上尾中央医科グループ内の施設間交流を目的とした勉強会の取り組み	彩の国東大宮メディカルセンター	原田 夕寿
スコープオペレータ介入に向けての管理者としての関わり方	彩の国東大宮メディカルセンター	中山 有香



2024年度 臨床工学部 新入職員リフレッシュ研修会

臨床工学部

9月26日にサンアメニティ北本キャンプフィールドにて、新入職員リフレッシュ研修会を行いました。幸い天候にも恵まれ、青空の下、盛況のうちに終了を迎えた今回の研修会。課題やカレー作りといった共同作業を通して他施設同期との親睦を深める良い機会となり、新鮮な体験が出来たと思います。

研修目的

他施設の同期メンバーとの交流、仕事に関する不安や悩みを共有し、心身のリフレッシュを図る。

プログラム

- ①開会式
- ②自己紹介
- ③アイスブレイク『私は誰でしょう?』ゲーム
- ④第1～5課題 各種クイズ
- ⑤カレー作り 昼食
- ⑦閉会式

課題

社会人としての知見を広げてもらいたいとの思いから、スポーツから政治経済まで様々な分野に関するグローバルなクイズを用意。知恵を出し合えば難しい課題にも立ち向かえるというチームワークの強さを認識してもらえそうな内容としました。



キャンプ場ならではの体験
でとても新鮮でした。



力を合わせて作った7種の
カレーはどれも美味しく頂
きました。

みんなで一緒に考えることが
チームワークにつながりました。



ミニゲームで一気に緊張が
ほぐれました。



栄養関係功労者の栄養指導部門において 厚生労働大臣表彰

この度、全国栄養改善大会が開催され、栄養関係功労者の栄養指導部門において厚生労働大臣表彰を頂きました。このような栄誉ある賞を頂きましたことは、ひとえに周りの皆様の支え、ご理解の賜物と感謝申し上げます。

病院内の栄養指導は、糖尿病、腎臓病などの慢性疾患、がん治療のサポート、嚥下機能障害や低栄養など、多岐にわたる分野の指導を行っております。対象者の背景は、年齢、体格はもとより、それぞれの生活環境があり、(家族、仕事、理解度、活動度など)それぞれの患者さんに合わせた個別での指導を行ってまいりました。

栄養業界を取り巻く環境は、現在過栄養と低栄養の二極化がみられています。特に高齢者の低栄養の改善は、元気で過ごせる健康寿命の延伸をはかるうえで、フレイル・サルコペニア予防として大きな課題となっております。また食事情が豊かになった現在、嗜好も個性化がみられ、おいしさを追求して偏食もみられます。

このような中で医食同源を唱えつつ、院内で食べられる喜びや栄養の重要性を伝えながら、今後も栄養業務に尽力してまいります。



彩の国東大宮メディカルセンター 管理栄養士 山本 純子

新調理実践研修の開催

- 日時・場所：2024年11月26日(火) 中西製作所東京支社内
- 研修目的：最新の調理方法と調理器具、食器などの情報を理解する
- 内容：リテールHACCP、TT管理、ニュークックチルについて
- 講師：愛友会セントラルキッチン 北爪科長



「中西製作所の東京テストキッチン内の新調理機器で調理済みの料理を冷却する機器や調理済みを加熱するカートの見学をしました。

また、ニュークックチルで調理したナリコマフードの嚥下食の試食をしました。

唯一、愛友会セントラルキッチンは伊奈病院や上尾中央第二病院、蓮田一心会病院、一心館にニュークックチルシステムを導入していますが、ほとんどの病院施設の給食業務は委託しています。



昨今の給食業務の進化に取り残されないように、管理栄養士は献立作成の基本である調理や調理方法、温度管理についても把握している必要があります。今回の研修は大変有意義な内容でした。」



栄養研究会 教育リーダー 桜ヶ丘中央病院 森谷 玲子

第35回 全国介護老人保健施設大会 岐阜

2024年11月14日(木)～15日(金)に第35回全国介護老人保健施設大会岐阜が岐阜市にある長良川国際会議場で開催されました。本大会は、日本全国の約3600の介護老人保健施設が加入する公益社団法人「全国老人保健施設大会」が年に1度開催する研鑽の場となっております。今回のテーマは「再び、地域が動く ～多様性を包摂する老健のさらなる共進(共鳴・共生進化)を～」でした。

AMGからは10施設が参加9演題の学会発表を行いました。大会2日目市民公開講演では、俳優の水谷豊さんが出演し、多くの市民が講演会場に訪れておりました。

来年度の大会は、2025年11月27日(木)、28日(金)に山口県で開催されます。



施設名	演者氏名	職種	役職	演題名
HC横浜小雀	土屋 蘭奈	管理栄養士	一般	見た目も栄養も抜群に！～少量高栄養の嚥下調整食を作る～
HC流山	赤澤 健児	介護福祉士	科長	R4システムと共に進化する「シン・ロウケン」
HC市川	鈴木 真也	介護福祉士	主任	周辺症状軽減の取り組み
HC左近山	後藤 有希	介護福祉士	一般	朝スッキリ!夜ぐっすり!～アロマで生活リズムを整える～
HC横浜	古川 みどり	看護師	一般	「人生会」から「みらい会議」へ～定着へ向けての取り組み～
エルサ上尾	野本 晋平	介護福祉士	主任	被介護者の幸福度の数値的評価方法の進展
あおばの里	丸岡 弘治	薬剤師	一般	高齢者施設の服薬簡素化提言について～老健での実践活用法～
一心館	加藤 治子	介護福祉士	係長	フロア全体で取り組む離職ゼロを目指して～安心して働ける環境づくり～
RP横浜	山本 俊介	介護福祉士	主任	尊厳を意識したケアを目指して～尊厳を守るという視点をもった排泄支援への取り組み

全老健大会を終えて

エルサ上尾

野本 晋平

介護福祉士 主任



【演題】被介護者の幸福度の数値的評価方法の進展

1 発表を終えての感想

昨年度に引き続きの発表だったため昨年の反省を活かし時間や発表方法に気を付けながら発表することが出来たことは良かった。発表の際に言葉が詰まったり、ポインターの使い方等に課題があると思ったので、今後はそういったところに注意して発表していきたい。

2 準備段階で良かった点・大変だった点



良かった点は幸福度の研究ということで結果を利用者様のより良い施設生活に繋いでいけるということ、まだ発展途中で活用方法に課題があるがより良い施設生活に役立てていきたい。

大変だった点は、去年の演題を発展させたものだった為、職員理解はスムーズにできたが、実施にあたり評価に個人差がある為、確認をするのが大変だった。また昨年度以上のものにしようと、修正に次ぐ修正があり提出までの道のりが大変だった。

全老健大会を終えて

ハートケア流山

赤澤 健児



【演題】R4システムと共に進化する～シン・ロウケン～

1 発表を終えての感想

全国の老健から800演題の募集があり、岐阜県には厳選された演題が集まりました。私達は、電子版R4システムの活用し、介護現場の生産性向上及び利用者ケアの質向上の実現についての発表を行いました。発表直前に上司や仲間からの、発表を鼓舞する応援が安心感に繋がりが緊張がほぐれたのを覚えています。発表後には、多くのご質問や拍手を頂きましたが、本研究が各県に拡がり介護現場に役立てば幸いです。

2 準備段階で良かった点・大変だった点



良かった点は、準備には演題登録から、取り組み、資料作成などありますが、各メンバーが適材適所で活躍し円滑な準備期間を過ごしました。また上司や仲間から、資料の訂正やアドバイスを頂き、良い準備ができました。大変だった点は、正直な所、感じませんでした。チームは課題にポジティブに向き合い、上司は研究時間や場所を確保していただき、研究に没頭する事が出来たからかもしれません。



地域包括支援センター全体会議 開催

9月25日、AMG内の7つの地域包括支援センターのSWが参加し、オンライン全体会議を開催しました。「多職種連携」を全体テーマに、本人支援、家族全体への支援などについてグループワークにて意見交換、情報共有などを行いました。今後もAMG内での横の繋がりや協力体制を構築しながら、地域へ貢献できるよう活動していきたいと思えます。

包括運営担当：永野(平方包括)、殿岡(上平包括)、奈良(大谷包括)

ソーシャルワーカー部 専門シリーズ研修 開催報告

10月25日、専門シリーズ研修②「ソーシャルワーカーの業務を明確に示すアセスメント」を開催しました。今回は日本医療ソーシャルワーカー協会(元、日本医療社会福祉協会)の元会長であり、現在はWITH医療福祉実践研究所で、後進育成に尽力されている佐原まち子先生を講師にお迎えし、ソーシャルワーカー支援の根幹となる「アセスメント」についてお話いただきました。先生と運営スタッフとの面談をエコマップ・タイムラインを使ってアセスメントする演習を行い、新人からベテランまで日頃の実践を振り返りながら、新たな学びを得た様子でした。

教育研修部門 笠石(HC横浜小雀)、唐橋(CC八潮)、玉城(笠幡)、萩原(さがみ)



演習の様子



エコマップ・タイムラインの解説



講師の佐原先生との集合写真

第1回 支援相談員デイケア担当 WEB会議 開催

11月13日、支援相談員デイケア担当部会を開催。17施設26名が参加。定員規模でグループを分け、事前アンケートを基にグループワークを行いました。日々の悩みや思いを共有し、運営課題や施設内外連携、システム構築について話し合うことができました。



今後も地域包括ケアシステムの中核となるべく、グループメリットを活かしデイケア相談員間のつながりを構築していきたいと思えます。

老健運営部門：初鹿（HC流山）、飯田（HC左近山）、高橋（HC東大宮）、颯川（エルサ）

上尾中央医科グループ

医療の質向上委員会

お問い合わせ先 | AMQI事務局（上尾中央総合病院 組織管理課） e-mail ▶▶ omr@ach.or.jp

連載 第66回 「安全な医療とデジタルトランスフォーメーション(DX)」

近年、医療業界においてデジタルトランスフォーメーション(DX)が急速に進展しており、医療の質や安全性を向上させる重要な役割を果たしています。先日開催された全日病学会でも、DXに関する研究や講演が多く行われ、その注目の高さが伺えます。

身近な例を挙げると、電子カルテの導入によって患者の情報が一元管理され、医療従事者が迅速かつ正確に情報を共有できるようになりました。これにより、誤診や重複検査のリスクが減少し、患者の安全性が向上しています。電子カルテは、オンプレミス型、クラウドリフト型、クラウドネイティブ型の3つに大きく分類されます。オンプレミス型は、各病院にサーバーを設置し、各施設で管理するタイプです。クラウドリフト型は、オンプレミスのサーバーをクラウド上に移行したもので、AMGにおいてはデジタルラボ（データセンター）にサーバーを置い

ている電子カルテ(桜ヶ丘、越谷、浅草など)がこれに該当します。一方、クラウドネイティブ型は、クラウド上にサービス環境を構築し、WEBブラウザで利用可能なため、コストを劇的に削減でき、拡張性が高く迅速な更新が実現するなど、大きなメリットが期待されています。理論上は、病院間での利用が可能のため、診療情報の共有が簡便化され、医療の質向上にも寄与すると考えられます。しかし、セキュリティ面の不安から「クラウドは危険である」との偏った認識や既存の考え方から脱却できず、機会損失してしまう可能性もあります。たとえば、「メールは危険だからFAXや郵送で患者情報をやり取りする」といった例が挙げられます。遠隔医療やAIによる診療補助ツールなど、技術の進化は日々更新されています。私たちもAMGの一員として、技術の進化にしっかりと対応し、常に最新の情報や方法をアップデートしていきましょう！

事務管理 柿崎 守光

埼玉上尾メディックス



2024-25 大同生命SV.LEAGUE WOMEN

10月12日の新LEAGUE開幕戦に勝利した埼玉上尾メディックスは、開幕から勝利を重ね、12月7日、8日に埼玉県上尾市・上尾市民体育館で開催されたホームゲームを終えて、12勝4敗、第3位につけています。2月には8日・9日、22日・23日と上尾市民体育館にてホームゲームが4日間開催されます。ぜひ、会場で熱いご声援をお願い致します！

試合結果

第1節 vs NECレッドロケッツ川崎 AWAY

[GAME 1] 10/12(土) ○ 3-0
[GAME 2] 10/13(日) ● 1-3

第3節 vs 群馬グリーンウイングス AWAY

[GAME 1] 10/26(土) ○ 3-0
[GAME 2] 10/27(日) ○ 3-1

第4節 vs KUROBEアクアフェアリーズ HOME

[GAME 1] 11/2(土) ○ 3-1
[GAME 2] 11/3(日) ○ 3-1

第5節 vs SAGA久光スプリングス AWAY

[GAME 1] 11/9(土) ○ 3-2
[GAME 2] 11/10(日) ● 0-3

第6節 vs アランマーレ山形 AWAY

[GAME 1] 11/16(土) ○ 3-0
[GAME 2] 11/17(日) ○ 3-1

第7節 vs PFUブルーキャッツかほく AWAY

[GAME 1] 11/23(土) ○ 3-1
[GAME 2] 11/24(日) ○ 3-0

第8節 vs デンソーエアリービーズ HOME

[GAME 1] 11/30(土) ● 0-3
[GAME 2] 12/1(日) ○ 3-1

第9節 vs クインシーズ刈谷 HOME

[GAME 1] 12/7(土) ● 2-3
[GAME 2] 12/8(日) ○ 3-0

12勝4敗 第3位 (12/8終了時点)



◀10/12(土)
新リーグ・
SV.LEAGUE開幕

▶開幕戦で初スタメンの起用に勝利で応えた #17鎌田咲希選手



▲11/3(日) 開幕ホーム戦を2連勝で終える @上尾市民体育館



▲12/1(日) 岩手県・花巻での首位攻防戦は1勝1敗の痛み分け



▲12/8(日) 刈谷を迎えたホームでは1勝1敗、第3位で前半戦を終える



▲11月3日(日)セット間イベントにお笑い芸人・さとゆりさんが登場！

大同生命 SV.LEAGUE を

J SPORTS オフデマンド で観よう!



こちらから購入すると視聴料金の一部が
クラブに還元されます!

埼玉上尾メディックス



埼玉上尾メディックスのホームゲームに家族や友人と一緒にいこう!

AMGグループでは、職員や職員家族・友人と一緒に観戦できるチケット優待あり!

※ホームゲームチケットについては、病院・施設の総務課等でお問合せ下さい。



NEXT HOME GAME

2月8日(土)、9日(日) vs NECレッドロケッツ川崎 会場:上尾市民体育館
2月22日(土)、23日(日) vs 群馬グリーンウイングス 会場:上尾市民体育館



ブックサンタ2024に参加

未来屋書店・イオンモール上尾店の協力のもと、ブックサンタ2024に参加しました。

ブックサンタは「様々な事情で困難な状況にある子どもたちへ、本をプレゼントしよう!」という社会貢献プロジェクトです。埼玉上尾メディックスの選手やスタッフたちが選び、購入した本が、全国の書店とNPOを通じて子どもたちへ届けられます。

活動内容

- 選手たちが書店へ伺い、実際に本を購入。
- オフィシャルサイト、SNSやYoutubeで参加を呼び掛け。
- ホームゲーム会場で、選手が選んだ本を展示。
- ホームゲーム会場で、チラシやオリジナルしおりを配布し啓蒙活動を実施



※オフィシャルサイトでは実際に選手が選んだ本をご確認いただけます。



AMG Soaring Partners Kick-Off Meeting



AMG Soaring Partners 発足!!

AMG Soaring Partners (通称 AMG ソアリン)は、女性チーフあるいは幹部や部署チーフをサポートしている事務職女性チーフアシスタントを対象としたコミュニティです。互いに支え合い、成長し、キャリアを発展させる環境づくりを目指しています。

2024年11月6日(水) 大宮ソニックシティ14Fの天空のジパングにて、AMG Soaring partners(下記ソアリン)キックオフミーティングが開催されました。今回は各病院の総務・人事の女性事務職を対象に開催し、22名が参加しました。はじめに久保田総局長からお言葉をいただき、次にAMG協議会 総務本部 市ノ川上席室長より、ソアリン発足の背景や活動内容についてご説明をいただきました。

その後食事をしながら、現状の共有や業務の課題など、年代・役職にとらわれず自由に交流することができました。

開催後のアンケートでは、「他病院と情報交換ができ、参考になる情報が得られた」、「相談できる相手とつながれて心強い」というコメントがありました。

ソアリンでは今後も女性事務職員が必要な時に必要な情報を得られる環境づくりを進め、横のつながりによって互いに支え合い部署を盛り立てていくことができるよう活動していきます。



ソアリンの由来

- Soaring** 空高く舞い上がるイメージ
 - Partners** グループで共に働く仲間 (女性事務職チーフ、チーフアシスタント)
- 「共に支え合い励まし合いながら笑顔で働く仲間たち」という意味が込められています。



AMG Soaring Partners Kickoff Meeting

AMG Soaring Partners (通称: AMGソアリン) は、女性事務職チーフと女性事務職チーフアシスタントのためのコミュニティです。互いに支え合い、成長し、キャリアを発展させる環境づくりを目指します。



2024.11.6
上尾中央医科グループ協議会
AMG Soaring Partners 事務局

AMG Soaring Partnersの概要

「AMGソアリン パートナース(通称:AMGソアリン)」は女性事務職チーフと、幹部や部署チーフをサポートしている女性事務職員(チーフアシスタント)を対象としたコミュニティ組織です。AMGソアリンは、女性事務職員が必要な時に必要な情報を得られるよう、誰もが繋がることのできる皆のためのネットワークです。同じ立場の仲間同士で、気軽に相談できるような横のつながりを強化し、孤立することなく共に成長できるよう、不安を解消できる環境づくりを進めていきます。また、後輩へ繋いでいくことで次世代のチーフアシスタントを育てる機会としています。これらの活動を通じて、部署の安定化と活性化の一助となることを目指します。

対象者

- 1 女性事務職チーフや、幹部・部署チーフをサポートする女性事務職員(チーフアシスタント)
- 2 目的: チーフとチーフアシスタントのネットワーク構築、次世代チーフアシスタントの育成

今回は総務人事対象

重要 POINT

(※) 部署チーフを育てるには、長期的な視点が必要であり、継続性も高い、定期的な実施可能なプログラムとしては、まず「チーフ・チーフアシスタント」の育成に取組むことが有効。病院経営において、このポジションには高いニーズがあり、アシスタントとしての経験を積むことで、チーフ業務に興味を持った場合には、そのタイミングで挑戦してもらえばよい。



活動内容について

【コンセプト】必要な時に必要な情報を得られるよう、時間的制限など負担が少なく自由度の高い活動を展開します

オンラインミーティング

定期的なオンラインミーティングで距離を超えた交流を促進します。

チャットツール活用

リアルタイムでの情報共有や相談ができるチャットツールを導入します。

勉強会・ワークショップ

スキルアップのための勉強会やワークショップを定期的に行います。

オフラインイベント

年に1回程度、直接交流できるオフラインイベントを企画します。

あなたの参加がAMGソアリンを更に活気づけます!

あなたの参加が、AMGソアリンをさらに活気づけます! AMGソアリンは、女性事務職員の皆さんが互いに支え合い、成長し合える場所です。ここでの経験や交流が皆さんのキャリアアップや個人的な成長につながることを願っています。



事務局メンバー

AMG協議会

- 総務部 上席室長: 市ノ川
- 総務部 係長: 横田
- 人事部 係長: 上原
- 総務部: 河野
- 総務部: 加藤

